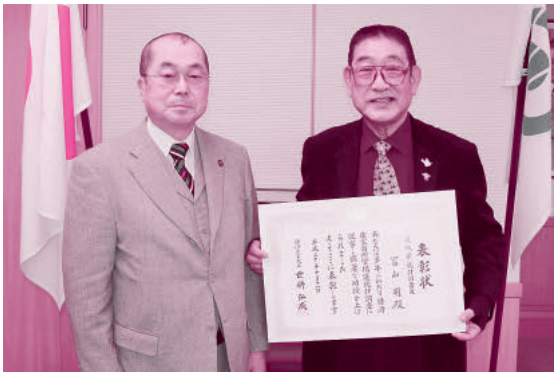
2/5 統計調査功労者表彰

冨山明さん（栄町）が、経済産業省所管統計調査（構造調査）の功績により経済産業大臣から表彰されました。

冨山さんは、これまでに工業統計調査15回、商業統計調査４回と長年にわたり多くの構造統計調査に貢献されました。

冨山さんは平成12年から統計調査員として活動されており、現在も本市の統計調査に調査員や指導員としてご協力いただいています。



▲おめでとうございます

2/12 市長会民間自治功労者表彰

市の発展に貢献された功績が顕著であった方を称える民間自治功労者表彰式（主催：茨城県市長会）が県市町村会館で開催され、本市から大森留里子さん（抽ヶ台町）が受賞されました。大森さんは、青少年相談員として平成８年から活動され、平成22年から現在まで市青少年相談員会会長として、組織の運営に手腕を発揮されるとともに、学校訪問を積極的に行うなど青少年の健全育成にご尽力されています。現在は、市社会教育委員、県薬物乱用防止指導員大宮地区協議会代表副会長としてもご活躍中です。

▲長年登下校を見守ってこられた大森さん

2/1 美しい水土里（みどり）づくり優良活動表彰

美しい水土里（みどり）づくり優良活動表彰（主催:茨城県）が茨城県立県民文化センターで行われました。これは、農村地域が有する資源の保守、管理、保全向上を図る優良な活動に取り組む組織を表彰し、その魅力を発信していくことを目的としたものです。市内からは、中山間地域等直接支払制度部門で袋木屋実賀（ふくろぎやじか）集落（鷲子区）が県知事賞、多面的機能支払交付金部門で小貫地域資源保全会が県農林水産部長賞を受賞しました。

▲宇野副知事を囲んで記念撮影

▲袋木屋実賀集落　代表　堀江民男さん

▲小貫地域資源保全会　代表　吉澤幸吉さん

2/8 ブルーベリージュース寄贈

株式会社筑波銀行からブルーベリージュース300本が市に寄贈されました。この品は、常陸大宮高校商業科の生徒が運営する「HIOKOホールディングス株式会社」が、筑波銀行と連携して商品化したものです。早速各種イベントで試飲等に活用させていただきました。飲んだ人からは、とても飲みやすいと好評でした。道の駅常陸大宮～かわプラザ～で販売もしています。

▲常陸大宮高校生と筑波銀行の皆さん

2/22 ピサーロへ木製品寄贈

農林中央金庫と茨城県森林組合連合会から、国産材を利用した木製フロアが寄贈され、常陸大宮ショッピングセンターピサーロのフードコートに設置しました。木のぬくもりを感じる床で靴を脱いでゆっくりくつろげるスペースとなっています。

▲目録を手渡す竹渕部長

▲木製フロア（ウッドコート）

2/22 子どもたちの未来へ寄贈

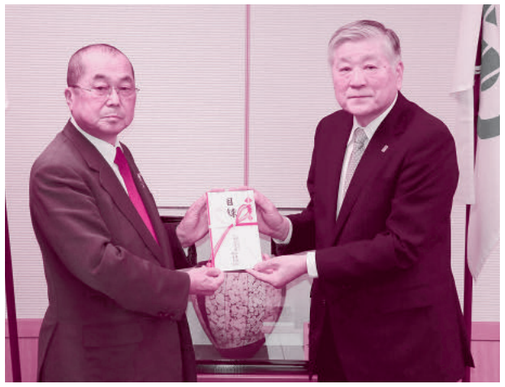
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社から、30万円が寄付されました。寄付受納式では、芦田康宏茨城支店水戸第二支社長から三次市長へ目録が贈呈されました。寄付金は、緑豊かな自然環境を後世へ残していくため、子どもたちへの環境学習を推進し、その学習に使用する教材の購入費等に有効活用します。

▲（右）芦田康宏茨城支店水戸第二支社長

3/1 道の駅に発電機2台の寄贈

一般社団法人日本道路建設業協会関東支部から、発電機２台が市へ寄贈されました。

今回の発電機２台は、道の駅常陸大宮、道の駅みわに配備することで、災害緊急時の安全安心の一助として、また地域コミュニティーや道路利用者の皆さんのために幅広く役立ててほしいと寄贈されました。



▲（右）目録を手渡す中村昇幹事長

1/23 茨城県伝統工芸士に認定

茨城県では、伝統工芸品の技術、技法を次代に引き継いでいくため、その製造に長年従事され、優れた技術を持つ方を「茨城県伝統工芸士」として認定しています。今年度は24人が認定されました。本市からは、県の指定工芸品である「西ノ内和紙」の製造に従事している、菊池順一さん（五介和紙）が認定されました。

菊池さんは、紙漉き体験などを通じ、茨城県伝統工芸品の技術、技法など広く普及活動を行うとともに、地元小中学校と一部の県立高校の卒業証書の作成など、伝統工芸品に対する認識を広める活動を行っています。

▲菊池順一さん（五介和紙）

2/5 渡辺直道さんが一日税務署長に

確定申告期間を前にして、「ひとり農業」でおなじみの常陸大宮大使の渡辺直道さんが、太田税務署（常陸太田市金井町）で「一日税務署長」を務めました。

渡辺さんは、税務署の職員に教わりながら、国税庁ホームページ内の確定申告書等作成コーナーを利用して給与や医療費控除などの項目を入力し、確定申告書を10分ほどで完成させました。とても簡単に申告書を作成できたことに渡辺さんも喜んだ様子で、集まった人たちに「スムーズにできるので、皆さんぜひよろしくお願いします」と、e-Tax（電子申告）の利用を呼びかけていました。

▲e-TaxのPRをしました！

1/27 常陸大宮市史セミナー「古代・中世の常陸大宮」

市文化センターで、市史セミナー第２回講座を実施しました。これは、市史編さん事業の調査内容を市民の皆さんに紹介することを目的としたものであり、昨年８月に続き、古代・中世の常陸大宮に関する歴史がテーマとなっています。

今回は、古代・中世史部会の山川千博調査員を講師に招き、「史料と遺構が語る中世の城跡」というテーマでご講演をいただきました。

▲講演をする山川千博調査員

講演では、市内各地に点在する中世城郭跡の調査状況に関する報告や市内の城郭が中世の古文書に登場する事例が紹介され、市域で過去に展開された戦闘の一端を知ることができました。講演には、市内外から120人を超える来場者があり、大きな関心を集めました。第３回は５月12日（日）、「常陸国風土記」成立前後の市域に関する講座を予定しています。

▲多くの方が講演に耳を傾けていました

2/6 アートを活用した地域活性化

村田小学校６年生を対象として、市内在住の画家である寺門由紀さんを講師に招き、絵画のワークショップを開催しました。卒業記念に大きな花束の絵を制作し、個人作品とともに常陸大宮ショッピングセンターピサーロに展示しました。

展示会場では、「やわらかいタッチで素敵」「ほっこり笑顔になる」などの多くの感想が寄せられました。今後も、多くの方が芸術に触れる機会を増やし、地域活性化に取り組んでいきます。

▲思い出に残るワークショップでした

2/14 教育振興大会

緒川総合センターで市教育振興大会が開催されました。この大会は、本市の教育の振興・発展に寄与された個人や団体に感謝状などを贈り、郷土を愛する心を育む郷育立市をさらに推進することを目的としており、100を超える団体･個人に表彰状と感謝状を贈呈しました。

またアトラクションでは、理科教育優秀校として表彰された緒川小学校の発表や、大宮小学校６年鈴木綾乃さんの読書感想文発表等が披露され、たくさんの歓声と拍手があがりました。

▲代表挨拶をする明峰中学校檜山千景さん

2/15 三太の湯 来館者250万人達成

諸沢地域にある温泉施設「やまがたすこやかランド三太の湯」で来館者250万人達成セレモニーが行われました。常陸太田市在住の江幡光雄さん（88歳）が250万人目の入館者となり「浴槽が広くゆったりと入れるので、冬は月１回利用している。」と話していました。三太の湯は、内風呂・露天風呂・気泡湯などで良質の温泉を楽しむことができます。皆さんもぜひご利用ください。

▲おめでとうございます

コミュニティセンターを整備

大宮第１区（区長･野上甲子雄さん、建設委員長･上久保良三さん）では、宝くじの社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」を活用し、「栄町コミュニティセンター」を建設しました。この事業は、宝くじの受託事業収入を財源として、一般財団法人自治総合センターが地域の自治意識を高め、連帯感を盛り上げるコミュニティ活動の充実・強化を図る事業に対し助成するものです。旧栄町公民館は老朽化、区の人口増により手狭となっていたことから新たな施設を整備しました。今後は、地域活動の拠点としての利活用が図られ、地域の更なる活性化が期待されます。

▲新設された栄町コミュニティセンター

2/17 ミュージックフェスティバル

第11回ミュージックフェスティバルが市内の中学校と高等学校全７校が参加して市文化センターで開催されました。講師に大成女子高等学校吹奏楽部顧問の船山貴司先生をお迎えし、第１部ではそれぞれの学校のサウンドを披露しました。第２部ではソロ・アンサンブル演奏、第３部では船山先生の指揮のもと中学１・２年生合同バンドの心を一つにした素晴らしい演奏がありました。中学生・高校生が学校の枠を越え、ともに演奏することをとおしてお互いに交流を深めました。

▲合同バンド演奏の様子

1月～3月 古い道具と昔のくらし

市内７校（村田小、大宮小、大賀小、大宮西小、山方南小、美和小、緒川小）の小学３年生たちが、社会科の授業で歴史民俗資料館山方館を訪れ、古い道具と昔のくらしをテーマに学習しました。展示品である羽釜や鍵吊るし、鉄びん、あんか、おひつなど、古い道具の名前や使い方を資料館職員から説明され、中でも、初めて見る手回し式洗濯機に児童たちは目を丸くしていました。

また、火打石を使って火花を起こす体験や、綿くり機で綿の種を取り除く体験などを行いました。児童たちは見学や体験を通して、昔のくらしについて理解を深め、現在のくらしとの違いを実感した様子でした。

▲綿くり機体験

2/21 市区長会から要望書提出

市民団体からの「イノシシ対策の取り組み強化のお願い」を受けた市区長会では役員会で協議し、イノシシ対策は喫緊の課題であり、早急な対策が強く望まれるとして、市に対し要望書を提出しました。

▲（右）要望書を手渡す佐藤区長会長

2/22 シルバーリハビリ体操

今年度、待望のシルバーリハビリ体操１級指導士が４人誕生し、３級養成講習会で初めて講師を務めました。講習会は、筋肉、骨、神経などの解剖運動学や、椅子やマットを使いながら92種類のシルバーリハビリ体操の実技講習が行われました。いきいきといつまでも元気に暮らせることを目的としたシルバーリハビリ体操教室を地域の隅々まで普及させ、地域の介護力を高めるため、１級指導士とともにこの養成講習会で誕生した３級指導士の活躍が期待されています。

▲みんなで記念撮影

１級指導士の皆さん

▲坪井さん、　桑原さん、　根本さん、　市野澤さん

2/23 お宝発見

23人の参加のもと、おおみやコミュニティセンターで、今年度最終回となる第６回「常陸大宮市のお宝発見事業」を実施しました。午前は本市出身とされる水墨画家である雪村について説明を聞いた後、実際に水墨画の体験を行いました。ほとんどの子どもたちが初めての体験で苦戦しながらも楽しんで行っている様子でした。講師から筆使いを教わりながら、参加者たちは竹や梅、ぶどう等を水墨画として描き、自分だけの作品を作り上げることができました。午後は、これまでの見学や体験で学んだことや感じたことを互いに意見を出し合いながら協力してまとめ、その内容を班ごとにみんなの前で発表しました。ボランティアの大学生のサポートを得ながら、参加者全員一生懸命発表ができました。

また、これまでの活動の様子を撮影した写真をまとめたスライドムービーを観ながら、年間の活動を振り返りました。そして最後に、常陸大宮市の多くのお宝を学んだ証として修了証書が手渡され、参加者たちの嬉しそうな表情がうかがえました。

参加した子どもたちは、全６回の体験活動を通して本市の誇れるものを数多く発見し、ふるさとへの誇りと愛着を深めることができました。

ボランティアの声

茨城大学１年
子どもふれあい隊
平沼　漂雅（ひょうが）

今回は、最初に水墨画を行いました。私も初めての経験でしたが、講師が丁寧に教えてくださったので、子どもたちと楽しく過ごすことができました。次に各班で１年間のまとめをし、全体発表を行いました。子どもたちとともにたくさんのことを経験して、新たな発見をすることができ、本当に良かったと思いました。

◀初めての水墨画体験

上手に発表できました▶

みんなのスポーツ・エクササイズ⑪

３Ｂ体操（さんびー）

３Ｂ体操は、音楽に合わせてリズミカルに身体を動かす体操です。ボール、ベル、ベルターという３種類の用具を使うことがその名前の由来になっています。身体に負担がかかる動きをしないので、高齢者の方も楽しく取り組め、身体に障がいがある方も、音楽に合わせながら体を動かすことで運動機能回復が期待できます。

流す音楽も、歌謡曲等を使うこともあり、飽きずに楽しむことができます。

本市内では、スポーツクラブひたまる25が３Ｂ体操教室を開催しています。３Ｂ体操は、いきいき茨城ゆめ国体のデモ種目として那珂市で実施されますので、参加者は出場に向けて練習をしています。来年度も水曜日午前に開催予定ですので、興味がある方はぜひご参加ください。

■問い合わせ■　文化スポーツ課　文化・スポーツグループ　☎52 - 1111（内線342）